

連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくろう!!

労福協

2017 春号

Shizuoka Rofukukyo Dayori
Spring 2017

だより

(一社)静岡県労働者福祉協議会

東部ブロック労福協幹事会

神奈川県労福協視察

ライサポ チャレンジ川柳

退福協、グリーン友の会

フードバンクからのお知らせ

労働金庫からのお知らせ

全労済からのお知らせ

福祉基金からのお知らせ

ALWF

福祉基金協会からのお知らせ

県生協連(会員生協の紹介)

ユニオントラベル(おすすめの旅)

シリーズ運動継承!

事業団体職員・労福協役員へ

贈る言葉

地域地区労福協活動紹介

地区労福協事務局長の
リレートーク No.24

人物登場



神奈川県労働者福祉協議会 視察受入



1月11日、12日に神奈川県労働福祉協会の役員12名がフードバンク活動について視察に参りました。

最初に藤枝市健康福祉部を訪問し、神奈川県労働福祉市川事務局長は視察受け入れのお礼と視察の目的について話されました。「視察の目的はフードバンクの立ち上げの構想があり、先進的に活動を実施している静岡で視察し、神奈川県ではどのような展開が出来るか学んで行きたい」とのことでした。

次に「フードバンクふじのくに」と藤枝市の関わりなどについて自立支援自立生活サポートセンターの小柳津係長から説明を受けました。藤枝市の自立支援サポートセンターは庁舎内に設置されており、相談員3名、就労支援1名が配置されています。社会福祉協議会サテライトは、貸付相談員1名を配置し、相談者の問題・課題を解決する支援を実施しています。27年度では400件を超



える新規相談があり、その中で食べる物がない生活困窮者に172件の食料支援を行っていただきます。この生活困窮者に支援する食料は「フードバンクふじのくに」から支援を受けています。自立支援センターの小柳津係長から「生活困窮者の相談に乗る場合に『フードバンクふじのくに』から頂いた食料を持って行くと、玄関を開けてくれ、家の中の様子に分かり、自立へのサポートがやり易く、助かっている」と感謝の言葉をいた

いただきました。

藤枝市でもフードドライブを市役所ロビー、各行政センター、社会福祉協議会で実施しています。昨年の冬季フードドライブは355kgでしたが、今年は12月末現在で327kgの食料が市民から寄贈されたと報告がありました。フードドライブが藤枝市民に浸透されつつあると感じました。

続いてろうきん藤枝支店に移動して「フードバンクふじのくに」の鈴木事務局次長から、「もったいないからありがとうへ」の話と「フードバンクふじのくに」の概要についての説明がありました。また、志太地区労働福祉の松永会長より、「労働協がフードバンクの取り組みについて行政要望を行った結果、行政のフードバンクの取り組みが進んだ」と話されて、神奈川県労働福祉協会の役員と活発な意見交換を行いました。

翌日は、藤枝市社会福祉協議会、岡部公民館、しずてつストアなどの視察を行いました。神奈川県労働福祉協会の柏木会長は自ら「しずてつストア」で買い物をし、その食品をフードドライブのボックスに寄付していただきました。

全ての視察が終了し、神奈川県労働福祉協会の市川事務局長より「きめ細かな視察と意見交換の場など大変有意義な視察となった。参加者は、それぞれの立場から見方や感じ方も違うとは思いますが、積極的に何かを学び持ち帰ろうとしていたように感じます」とお礼の言葉をいただきました。

東部ブロック労福協幹事会が 静岡で開催



東部ブロック幹事会は年4回行われ、1都10県の持ち回りで開催されています。今回の211回幹事会は2月20日、21日で焼津グランドホテル会議室に於いて開催されました。

冒頭、東部ブロック労働福祉協会の黒川会長は「東部ブロック労働福祉協会の50周年が無事終了した。これまでの運動を次の10年に繋げていきたい。トランプ大統領が出現したことにより、先が見えない不確実な時代になったが、労働協運動が労働者の生活向上に寄与できるようにしたい」と挨拶しました。

続いて、花井中央労働協事務局局長は「都県労働協の協力により奨学金制度が衆議院の文部科学委員会で審議されるだろうと思う。今までの協力で感謝する。昨年11月に決定した活動計画に基づき福祉強化キャンペーンを取り組んでいきたい。福祉事業団体の連携、組合と事業団体との連携など共助の拡大をしたい」と挨拶をしました。

報告事項として、中央労働協と東部ブロックの総会および50周年会計報告と役員研修についての報告がありました。

協議事項としては、福祉リーダー塾の運営方法等について提案があり、今年度は従来通り行い、今年度中で検討を行うことになりました。また、諸会議の日程、場所の提案があり、幹事会、総会等は確認されたが、福祉リーダー塾の後期日程について



は、講師等の調整後に決定することになり、一日目の幹事会は終了しました。

翌日はヤマハ掛川工場を訪問し、ピアノ工場の視察と東遠地域労働協および、掛川地区労働協の活動報告を北野会長と山本事務局次長から受けました。他県労働協の幹事の皆様は地区労働協でも、行政要望、社会貢献活動や講演会などを実施していることに対して感心していました。

静岡県開催の2日間にわたる東部ブロック労働福祉協幹事会と視察は無事終了しました。

第十五回文化祭を開催

富士地区退福共・グリーン友の会の協賛で恒例となりました、文化祭を11月11日(金)～13日(日)の3日間、富士中央図書館市民ギャラリー室で開催しました。

今年度も退福共会員とグリーン友の会の会員皆様のご協力を頂き盛大に開催することが出来ました。多種・多彩な出展作品は、295点、来場者は三日間で338名となりました。出展作品は、陶芸、ガラスリッツエン、バードピーキング、絵画、パッチワーク、写経、押絵、七宝焼き、人形、エコクラフト、似顔絵、書道、ちぎり絵、ハンカチ、着物、水引き細工、革工芸、菊盆栽などの例年の作品及び、ボールペン点描



画などユニークな作品や来場者がお持帰り自由な紙工作の傘30本、どんぐりと竹を使った飾り物20個などが好評でした。

今回は、「カード入れ」の出展が多く、多種多様のカードを所有する社会の反映かもしれません。2日目、3日目はエコクラフト実演コーナーが行われ、干支の酉のストラップの実演講習があり、来場者などがグリーン友の会の会員の手ほどきを受け製作し持ち帰っていました。

湖西地区 退職者福祉共済会・グリーン友の会合同日帰り旅行

【秋の富士見台高原と飛騨牛の旅】



中仙道「大湫宿」の史跡、文化財の探訪を散策したり長野県阿智村、富士見台高原「ヘブンスそのはら」ではロープウェイから眺める紅葉を堪能し和気あいあいとした時間を過ごし会員同士の交流を図りました。



●退福協・・・

定年退職を迎えられた後、引き続いて「相互扶助」を基本に、〈ろうきん〉〈全労済〉など福祉事業団体との生涯取引をする事により、高齢者社会に対応した生活の安定と充実した日々を過ごすことを目的に設立された共済団体です。

県内23ヶ所の地区組織となっています。〈ろうきん〉の支援を受けて「生きがいづくり」「楽しみづくり」の一環として、「グラウンドゴルフブロック大会」・「バス旅行」を開催、その他各地区では、それぞれ趣味の会やサークル・同好会活動を仲間同士で自由きままに、思い思いの活動を実施しています。

●ろうきんグリーン友の会・・・

〈ろうきん〉や〈労福協〉の支援のもとに、家庭の主婦や働く女性の相互交流・親睦をはかり、健康で明るい生活をおくるために、様々な活動を自分たちで企画・実施している女性だけのグループです。

県内17地区に分かれて、それぞれ地区独自の教室・サークル・ボランティア活動のほか、〈ろうきん〉の支援を受けて「日帰りお食事ツアー」・「観劇ツアー」を実施しています。

労福協ってなあに？ 45

たくさん挑戦すること



第12回 チャレンジ川柳

第12回チャレンジ川柳「リサイクル」のお題で、2016年11月1日から30日まで静岡県退職者福祉協議会・ろうきんグリーン友の会県連絡会共催、ライフサポートセンター友の会後援で川柳募集いたしました。思い出の物や、思い出のあるものを再利用する気持ちを表現した作品など、226点の応募をいただきました。最優秀賞をはじめ26作品が入選いたしました。日常の出来事や気持ちを、初めて作品にして、チャレンジ川柳に応募され、入賞した方もいらっしゃいました。今回も全日本川柳協会常任理事であり、静岡県川柳協会代表「今田久帆」先生に全ての賞を選出していただきました。表彰式は1月17日(火)に行いました。



優秀賞 定年で自分を今はリサイクル 名倉 博(袋井市)	優秀賞 腹帯を慣れぬ手で縫い孫の服 白井 明美(裾野市)	優秀賞 署名済み俺の臓器もリサイクル 大川 隆(伊豆市)	優秀賞 不用品実家の母にリサイクル 川島 由美(袋井市)	最優秀賞 母の服孫のズボンで蘇る 清水 ちえ(袋井市)	優秀賞 眠る服変身させて日の出みる 尾崎 千代(静岡市駿河区)
-----------------------------------	------------------------------------	------------------------------------	------------------------------------	-----------------------------------	---------------------------------------

総評

静岡県川柳協会代表
「今田久帆」先生

リサイクルは、廃棄物を再資源化して再利用することですが、不用品の活用を計ること（リユース）にも使われるようになってきました。そんな中で、衣類のリサイクル、ゴミや資源の再利用が主でしたが、夫や妻をリサイクルするというまでありました。『リサイクル』は具体的な事柄を描かないと、標語になってしまいますので、その中に人間の思いを描き出すと、心暖まる句になると思います。

車のローンなら断然〈ろうきん〉! オートローン 『役立宣言』



新車・中古車等の購入はもちろん! 車関連費用にも。

◆愛車の車検
・修理費用

◆免許証の
取得費用



◆オートバイの
購入費用

◆カーナビ等の
購入費用



年 1.98%

(返済期間 3 年以内・固定金利でご利用の場合)

●表示の内容は 2017 年 4 月 1 日現在の内容です。
※表示金利は変更となる場合がございます。

■ご融資額 最高 1,000 万円
■ご返済期間 最長 10 年

■適用金利 (年利)

日本労信協保証をご利用の場合

金利制度	ご返済期間	ご利用金利
固定金利	3 年以内	1.98%
	3 年超 10 年以内	2.98%
変動金利	全期間	2.30%

※[固定金利]・[変動金利]のいずれかをご選択いただけます。
※表示金利は変更となる場合がございます。

【ご注意事項】●2017 年 3 月 1 日現在の内容です。●自動車・オートバイ・クルーザーの購入資金や、その維持管理費用などにご利用いただけます。●担保・取扱手数料等は不要です。●保証人は原則不要です。保証機関の保証をご利用いただけます。勤務先の労組・互助会等が〈ろうきん〉の会員で、その会員に所属の方は、保証料を〈ろうきん〉が負担します。静岡県勤信協保証の場合、年 1.0% の保証料、セディナ保証の場合、年 1.2% の保証料を別途ご負担いただきます。●日本労信協または静岡県勤信協の審査基準等を満たさない場合、セディナ保証での再審査をさせていただきます。●返済試算額は、店頭またはホームページでご確認いただけます。●事業目的にはご利用いただけません。●諸条件により、お客さまのご希望にそえない場合もございます。●詳しくは店頭で説明書をご用意しています。

お問合せは

静岡ろうきん お客様サービスセンター
フリーダイヤル: 0120-609-123(平日9時~18時)



<http://shizuoka.rokin.or.jp>



フードバンクふじのくにから お知らせ

平成 29 年に入り、今年も冬のフードドライブを行いました。行政・社会福祉協議会・NPO のほか、常日頃からご協力をいただいている地区労福協やスーパーなど、静岡県内で合計 170 か所を超える協力先に回収BOXを置かせていただくことができました。この数字というのは、全国的に見ても一番多いもので、静岡県におけるフードバンクの認知度の向上、県民の皆様の意識の高さ、また、関係機関との連携が取れてきているということのあらわれだと思います。

そして今回も、集計・仕分け作業には、たくさんのボランティアさんたちのご協力をいただきました。現段階の推定値ということにはなりますが、この期間内(平成 29 年 1 月 5 日~1 月 31 日)にいただいた食べ物の量は、9 トンを超えるものと思われ、設置か所数・寄贈量ともに過去最高という実績を出すことができました。

地区労福協の皆様には、この期間にかかわらず食品を集めていただいておりますが、今回の期間内においては 260kg を超える食品の寄贈をいただきました。

このような寄贈をいただいたにも関わらず、「生活に困っている」という声が増え、行政や社会福祉協議会からの依頼件数は伸びる一方であるため、まだまだ「おかず」が不足しています。レトルト食品・缶詰などございましたら、期間に関わらず寄贈いただけたらありがたいです。

さて、今回はもう一つ報告があります。昨年の 12 月 28 日にフードバンクふじのくにと全日本運輸産業労働組合連合会静岡県連合(運輸労連)とで「フードバンク

活動に関する配送協力協定書」の調印式を行いました。フードバンクふじのくにには、大量の食料寄贈品を受け入れる際に輸送手段をどのようにするのが課題となっていました。今回の協定では、条件や上限はもちろんあるものの、フードバンクの配送にかかわる費用を運輸労連で負担してくれるという、大変うれしい協定となります。

フードバンクふじのくにが発足してもう少しで丸三年が経とうとしており、設立当初とはまた違った課題がでてきています。しかし、今回のように皆様方のご協力を得て、一つひとつ解決していきたいと思っています。



叱らなくても 子どもは伸びる

～子育てと家庭教育のポイント～

講師 親野智可等(おやのちから)さん

教育評論家。公立小学校で23年間教師を務める。メルマガ「親力(おやりょく)で決まる子供の将来」は、メルマガ大賞教育・研究部門で5年連続第1位、教育系メルマガとしては最大規模を誇る。人気マンガ「ドラゴン桜」の指南役としても知られ、全国各地の小・中学校、幼稚園・保育園のPTA、市町村の教育講演会で活躍中。著書多数。

日時:6/17(土) 10:00-12:00
会場:藤枝市民会館 募集:80名
申込:ライフサポートセンターしずおかしだはいばら事務所
☎ 054-646-6055

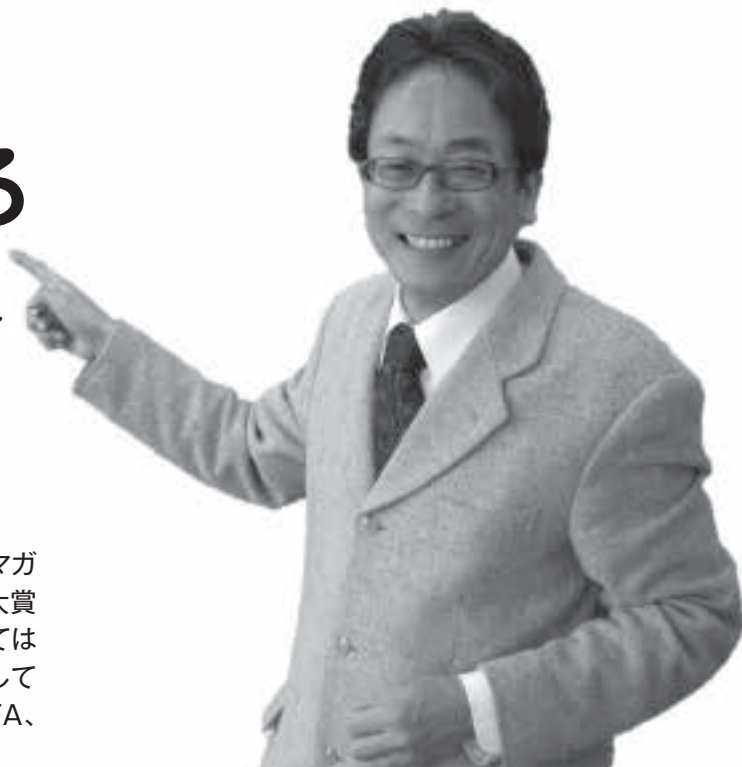
日時:7/29(土) 10:00-12:00
会場:浜松労政会館 募集:80名
申込:ライフサポートセンターしずおか西部事務所
☎ 053-466-6307

日時:8/19(土) 10:00-12:00
会場:韭山文化センター韭山時代劇場 募集:80名
申込:ライフサポートセンターしずおか東部事務所
☎ 055-929-9820

暮らしなんでも相談・ロッキーカレッジの情報はこちら。

ライフサポートセンターしずおか

検索



おやこおこづかい教室

定額制おこづかいの使い方とお金の大切さをゲームで学びます。

日時:5/20(土) 9:30-11:30
会場:函南町役場2階会議室
申込:ライフサポートセンターしずおか東部事務所 ☎ 055-929-9820

日時:6/24(土) 10:00-12:00
会場:浜松市内(会場調整中)
申込:ライフサポートセンターしずおか西部事務所 ☎ 053-466-6307

*募集は各会場小学生30名とその保護者

講師:静岡ライフプラン設計相談室
代表 山川正人さん



妙慶さんの ちょっといい話

講師 川村妙慶(かわむらみょうけい)さん

真宗大谷派僧侶、フリーアナウンサー。京都市在住(正念寺)。17年前に立ち上げた「日替わり法話」がYahoo! JAPANの検索1位となり、マスコミにて取り上げられる。お寺のみならず、全国各地のカルチャーセンターや企業研修など、多くの場で法話会を実践し、その気さくな人柄とやわらかな語り口で人気を博している。現在は、広島経済大学客員教授、中日新聞社やNHK、読売文化センター「心の講座」の講師としても活躍。著書多数

日時:4/22(土) 13:30-15:30
会場:浜松労政会館 募集:80名
申込:ライフサポートセンターしずおか西部事務所
☎ 053-466-6307

アナウンサー側から見るテレビ

スポーツアナウンサーの仕事や、アナウンサーの立場で目にしてきたテレビのこだわりをお話しします。

日時:6/8(木) 14:00-16:00
会場:ALWFロッキーセンター 募集:100名
(静岡市葵区黒金町5-1 静岡県勤労者総合会館3階)
申込:ライフサポートセンターしずおか中部事務所
☎ 054-270-3963
講師:静岡朝日テレビ現役(アナウンサー) テレビ朝日元アナウンサー

3Q+4Q
あさひテレビ

聞いて、なるほど!マヨネーズのお話

マヨネーズの歴史や
おいしさの秘密、調理での
裏ワザなどをお伝えします。

日時:6/10(土) 10:00-11:30
会場:三島市社会福祉会館4階
募集:80名
申込:ライフサポートセンターしずおか東部事務所
☎ 055-929-9820
講師:キューピー(株)社員



イキイキ 健幸生活

認知症とロコモティブシンドロームの理解と
セラバンド(セラテープ)を使った
運動機能筋力低下防止トレーニングをご紹介します。

日時:7/8(土) 13:30-15:30 会場:沼津第5地区センター 募集:50名
申込:ライフサポートセンターしずおか東部事務所 ☎ 055-929-9820
講師:静岡県柔道整復師会健康推進部員



●「ALWF(アルーフ)ロッキーセンター」のご利用をお待ちしております!!

会議室の利用方法や料金等のお問い合わせ、
お申し込み等は下記で承ります。

■問合せ先
公益財団法人 静岡県労働者福祉基金協会
ALWFロッキーセンター

〒420-0851 静岡市葵区黒金町5-1 静岡県勤労者総合会館3階
TEL 054-273-3000 FAX 054-272-7326



日常生活で起こるトラブルや悩みごと等のご相談に応じます。お気軽にご利用下さい。

- ★暮らし何でも相談
消費生活、家庭、労働、子育て、介護、年金、住まい、多重債務、融資だけでなく、生きがい、生活設計、ボランティアなど、充実して暮らすための相談なども結構です。
- ★豊富な相談協力ネットワークにより、適切な専門機関をご紹介します。
(弁護士、司法書士、行政機関、社会福祉協議会、金融機関、NPO団体等)
- ★相談は原則無料
- ★県内6箇所のセンターで相談に応じます。

相談ダイヤル
受付は平日
9:00~17:00

東部:055-922-3715 西部:053-461-3715
中部:054-273-3715 中東遠:0538-33-3715
しだはいばら:054-646-6055 岳南:0545-51-3715

「ユニオントラベル」がお薦めする 旅だよりⅡ

「どうにも近江が好きである」
司馬遼太郎 街道をゆくシリーズ 近江散歩より

お城と湖のまち 彦根

おんな城主 井伊直虎を養母に持つ「徳川四天王」の井伊直政が初代藩主を務めた彦根藩。築城400年を超えてなお、美しい姿を残す彦根城。名勝の大名庭園「玄宮楽々園」。歴史絵巻に染まる城下町。悠久の歴史とともに歩んできた日本一の湖・琵琶湖。その雄大な湖が与えてくれる大自然や育まれた味覚。今回は、近江の中心の一つをなす滋賀県彦根市を誌上散歩しよう。



大名屋敷庭園・名勝 玄宮楽々園

江戸時代は、「櫻御殿」と呼ばれた彦根藩の下屋敷。現在は、櫻御殿の庭園部分を玄宮園、建物部分を楽々園と称している。幕末の大老井伊直弼は、ここ楽々園で生まれた。玄宮園は近江八景を模して作庭されたといわれる回遊式庭園。園内にはかつて藩主が客人をもてなした茶室「鳳翔台」もあり抹茶とお菓子を堪能できる。

彦根のええもん、うまいもん

散歩の途中では、城下町に相應しい和菓子の老舗、工房で甘味を満喫。散策の後は、自然豊かな風土から生まれたブランド和牛「近江牛」。冬の味覚の代表は「鴨肉」。鴨鍋・鴨すきがオススメ。独特の風味と香りが食通に評判の「鮎ずし」など琵琶湖に育てられた美味に舌つづみ。お土産は、「彦根和ろうそく」。室町時代から続く「近江麻布」。伝統工芸品の湖東焼。ご当地人気キャラ、ひこにゃんグッズも豊富。



城郭建築の最高峰を誇る 国宝 彦根城天守

彦根城は、1607年ごろ、石垣の上にそびえ立つ三重三層の天守が完成。唐破風・千鳥破風など個性的な曲線の調和は見事。政治的象徴としての外観の美しさだけでなく、城本来の機能である軍事面でも優れている。天守から琵琶湖を見渡すことができる眺望は一見の価値あり。併設の彦根城博物館は藩の政庁「表御殿」を復元して建立された。徳川家譜代大名筆頭、井伊家伝来の名宝の数々が収蔵、展示されている。

余祿 彦根の龍潭寺

初代藩主井伊直政が発祥地である井伊谷の龍潭寺を分寺し建立した。禅僧の研修道場で多数の造園学僧を輩出した。白砂に48の石を組んだ方丈南園は「ふだらくの庭」として知られている。本堂には襖絵や井伊家ゆかりの茶室もある。

資料提供：公益社団法人 彦根観光協会

お問い合わせは

(株)静岡ユニオントラベル

〒422-8067 静岡市駿河区南町11-22 静岡労働会館3F
TEL 054(203)6877(代)

静岡県知事 登録 旅行業 第2-309号
FAX 054(203)6878
<http://www.union-travel.co.jp>

静岡県生活協同組合連合会 加盟生協の紹介(その2)

静岡県労働者共済生活協同組合 (全労済静岡県本部)

ZENROSAL NEWS
1816W006

① 全労済は保障を扱う生協

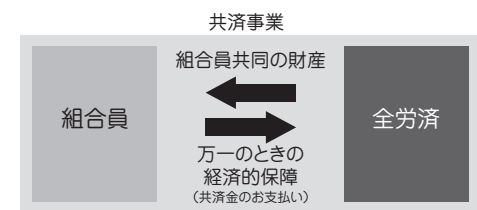
全労済は保障(共済商品)を扱う生協(生活協同組合)です。正式名称を「全国労働者共済生活協同組合連合会」といい、消費生活協同組合法(生協法)にもとづき、厚生労働省の認可を受けて共済事業を行っています。



保障のことなら
全労済
全国労働者共済生活協同組合連合会

② 共済事業は「助け合い」

共済事業とは生活を脅かす様々なリスクに対して、相互扶助の精神で、保険の仕組みを使った事業です。



静岡県本部	静岡市葵区鷹匠2-13-4
組合員数	482,151名(2016年5月末現在)
契約高	約22.4兆円(2016年5月末現在)

ホームページアドレス <https://www.zenrosai.coop/contact/zenkoku/shizuoka.html>

スズキ生活協同組合

スズキ生協は、スズキ(株)グループ従業員の皆様の出資により、組合員の皆様のより豊かで快適な暮らしを実現できるように福利厚生の一翼を担い、売店(17)・自動販売機・職場内共同購入・指定店等の各事業を運営しています。飲料、菓子、食品、雑貨、作業関連品、パン等、安心・安全・安価な商品の販売を通じて、組合員の皆様に賢い暮らしをアドバイスしています。スズキ(株)本社社屋一部建て直しに伴い、売店は2016年12月19日に新装オープン、本部事務所も 2017年1月21日に仮事務所より移転いたしました。

【本社売店新装オープン】
一日の平均来店客数 2,600人



【新本部
事務所の様子】



本部	〒432-8065 浜松市南区高塚町300番地[スズキ(株)本社内]
代表TEL	053-447-3358
組合員数	18,511人(2015年度期末実績)
事業高	11億9,781万円 (2015年度期末実績)

ホームページアドレス <http://www.suzuki-seikyo.jp>

静岡大学生生活協同組合

当生協は国立大学法人静岡大学を職域として、学生・院生・教職員の福利厚生事業を担っています。静岡・浜松両キャンパスにおいて、食堂(7店舗)、ショップ(書籍・購買・旅行、コンビニ等7店舗)、学生総合共済、住まい事業、公務員講座、パソコン講座、キャリアデザインセミナー等を通じて学生組合員の学びと成長を支援する事業、新入生のひとり暮らしをサポートする学生アドバイザー活動などをすすめています。

また、IC学生証(チャージ式)によるPOSレジでの決済システム、焼き上げパンの提供(静岡キャンパス)、全国の大学生協ではじめて地球温暖化係数ゼロのノンフロン型省エネ冷蔵システムを導入するなど、組合員のニーズに応えるとりくみに力を入れています。



新入生歓迎行事



学生証で決済
(生協電子マネー キャンパスペイ)

本部	〒422-8017 静岡市駿河区大谷836
組合員数	12,719名(2016年2月末現在)
契約高	1,793,070千円(2015年度)

ホームページアドレス <http://www.shizuokaunivcoop.jp/>

人物登場

地区労福協事務局長のリレートーク No.24

ナガタ タケアキ
永田 剛章

鈴与職員労働組合 書記長

- ①趣味:子育て
- ②モットー:俺まだ本気出してないだけ
- ③最近感動したこと:今朝空が青かった事
- ④最近失敗したこと:昨日卵をうまく割れなかった事



皆さん、こんにちは。

清水地区労福協事務局長の永田剛章です。事務局長になり約2年半経ちますが、岩崎会長を始めとする、周りの方々のサポートにより、明るく、楽しく務めさせていただいております。今後も清水地区労福協の風通しの良い雰囲気を維持しつつ、行政への要望等を通して、働く人々のお役に立てるよう努めていきますので、何卒よろしくお願いします。

さて、今回は人物登場ということですので、自己紹介をさせていただきます。出身は牧之原市で、名字の通り、永遠に続くかのような田んぼに囲まれ、高校卒業まで育ちました。現在は当時の私からしたら大都会であった静岡市で生活しております。満32歳で、2児の父親です。出身単組は鈴与職員労働組合で、単組での今の立場は書記長です。

今回の原稿に当たり、趣味や継続していることを考えてみたのですが、この場で言えるような立派なものはないので、好感度のみを狙ってお話しますと、現在は【子育て】にはまっております。ただ、子育てと言っても世間で流行っているようなイクメンと言われる方々とはほど遠く、保育園に送ったり、休みの日やたまに早く帰った日に子供と子供のように遊ぶ程度のものです。先日、節分で鬼に扮し、子供たちを襲撃したのですが、昨年まで泣きだけだった長男が必死で豆を投げるのを見て、子供の成長を感じました。今回のように子育てに関わる事により「自分も成長しないとな」と3歳児から思い切り刺激を受ける、これが子育ての醍醐味なのかもしれません。

子育てとはレベル感が全く違いますが、労福協での活動を始めとする、地域の他労組や労働団体との関わりも私にとって刺激となり、学びの場となっています。若輩者でありますし、肩書に見合う働きはできていないかと思いますが、この学びの場を楽しみ、自分自身と地域の活動を成長させることに対して、前向きに事務局長の仕事に邁進していきたいと思ひます。

最後に、清水地区労福協の活動について紹介させていただきます。清水地区独自の活動としましては、1月に清水地区労働団体役員合同セミナー、2月にボウリング大会、初夏にはバスツアーと多くの活動しております。また、静岡地区と共に静岡地域として行う労福協まつりは5000人の来場者でにぎあう地域の一大イベントとなっており、今年も4月23日(日)の開催に向け準備にとりかかっております。今後も、労福協の活動を通じて、勤労者同士の繋がりを深め、より良い福祉社会づくりに取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いします。



運動継承！ 事業団体職員・労福協役員へ 贈る言葉 VOL.4 栗倉 義久氏

全電通の委員長と労働金庫の理事長を兼務して、その後県労福協の会長を務めた方です。



最後に少し昔に戻って3つの大きな事業計画について話したいと思う。福対協の結成準備会ができ、火災共済・労働質庫・物資斡旋の事業計画を作った。当時、福対協という団体があり、物資を斡旋しながら、様々な保障を取り扱い全労済の前身となった。労金と全労済は当初は一緒に事業を行っていたが、労金でも同様に労福協を作っていたため、全労済は別で事業を行う形となった。

その後、労福協では1万人アンケートを行い、事業について意見集約を行った。アンケートの結果、要望の多かった老人ホーム・旅行・保養所の3つについて事業を行うこととなった。

まず、老人ホームについては、労金の健康診断を聖隷病院で行っていたこともあり、聖隷病院を作った長谷川氏に相談に乗ってもらった。様々な苦労はあったが、長谷川氏をはじめとするたくさんの人のおかげで施設は完成した。利用者を募る為、新宿までビラ配りに行くこともあった。土地建物ともに労福協の所有であったが、もともと事業の大半を聖隷病院に委託していたこともあって、2・3年経営した後には聖隷病院に譲渡し、現在は「もくせい

の里」となっており存続している。

次に旅行の件について検討され、旅行会社を作ることになった。これが現在のユニオントラベルである。ユニオントラベルを作るにあたり、県と何度も議論を交わした。しかし、県の認可は下りず、協同組織または任意団体もしくは株式会社での運営を考えざるを得なかった。ここでの苦労はなんといっても、資本金集めだ。最低でも2・300万円は必要だった。私たちにはお金がなかったから、四方八方から集めた。そして、県下私鉄労組、特に静鉄労組の協力を得て、株式会社としてユニオントラベルを作った。社長の成り手がなく、しかたなく私が社長になり10年も務めた。社長ではあるが、給与手当は一銭も払われない無給社長である。当然、妻からは文句を言われた。その後も苦労は絶えなかったが、今もこうして会社は続いているのだから成功したものと思っている。

最後に保養所について、住宅の団地を含めて作ろうという動きがあつて、私は神奈川県や愛知県など参考になるものがあれば、どこへでも行つて勉強した。また、県や市の担当部署へはどのくらい足を運んだかわからない。土地の目星をつけたものの、一部の地主との折り合いがつかなかったことや、

住宅生協のことや様々な理由はあったが、結局保養所建設には至らなかった。また、事業のひとつであり労働者の念願であった清水テルサ建設についても、労福協は土地の斡旋から何から一生懸命やってきた。紆余曲折を経て最終的にテルサの事業は国が行うこととなり、労福協の事業にはならなかった。

静岡へ配属されNIT労組委員長となつてから、労働金庫の理事長、福祉基金協会などの財団の役員、労福協の会長、ユニオントラベルの社長となり、通算30年ほど関わってきた。今と昔ではだいぶ時代も変わっただろう。私の学業は小学校のみで竹本氏たちのように勉学に励んでいた方ではないかもしれない。ただ、私が今までやってくる事ができたのは、「人の輪」というものを一番大切にしてきたからだと思っている。労金の中でもたくさんの方が発生したが、いつもたくさんの方が私を助けてくれた。私はとにかく周りの関係性というものを大事にしてきた。ここまで労働者福祉という事で運動が発展してきたわけである。私はこれからも労働者自主福祉運動をみなさんの手により、さらに発展させてもらいたいと心から願っている。

(二年間 寄稿ありがとうございます)

協の活動に対し、感謝の意を表すとともに今後も市政と協働した取り組みを要請されました。

小林会長、須藤市長、河原崎会長、大滝専務理事の4名が皆さんのヨイショの掛け声で勢いの良い鏡開きを行いました。入川副会長の「乾杯！」発声で懇親会はスタートしました。飯室事務局長の名司会で皆さんの懇親も盛り上がりつ



『新年の集い』

2017年1月17日に「富士宮地区労福協新年の集い」がフォレストヒルズで開催されました。労福協会員から総勢110名が参加され、来賓には富士宮市から須藤市長、勤労者共済会から河原崎会長、県労福協からは大滝専務理事をお招きし、ご挨拶をいただきました。須藤市長からは行政要望を始めとする労福

きたところで、例年好評の「若者の会」によるゲームのスタートです。赤池会長から活動紹介と挨拶、鈴木幹事からルール説明のあと、今年はスリッパリレー競争のゲームを企画いただきました。各テーブルごとに代表者が参加し、スリッパを床に落とさずに次の人へ履かせてタイムを競いました。酔っているのか、うまく次の方へ引き継げない中、一生懸命になる姿で会場は大いに盛り上がりました。トーナメント形式で行い、上位チームに景品が手渡されました。

そのあとは、メインイベントの大抽選会です。労福協幹事会員や福祉事業団体から提供された賞品を中心に、豪華賞品を取り揃えました。佐野副会長の手際の良い進行で、会場の参加者へ次々と賞品が当たる中、お目当ての賞品をゲットされた方は大変おめでとうございました。

閉会の挨拶で天野副会長から干支の酉にちなんだお話しではなるほどと思うところがありました。労福協も大きく羽ばたいて行きたいと思っています。新年のスタートにあたり、多くの労福協会員の方と新年の顔合わせができ、楽しい食事やゲームでいいひと時を過ごすことができました。会員の皆様を始めとして、今年も労福協の活動について、ご理解ご協力を宜しく願います。

1月24日(火)「2017年新春のつどい」を60名の参加者を得て、熱海のホテル・サンミ俱樂部で開催しました。

第一部は江田事務局長の司会で進行。井原事務局次長が開会の辞を述べ、青木会長の挨拶では当地区労福協の活動を報告し、「英国のEU離脱、米国トランプ大統領のTPP離脱表明など世界の先行きが難しい状況を踏まえ、投資などの知識を養ってもらえれば」と講演の趣旨を説明しました。来賓としてご挨拶をいただいたのは開催地である熱海市の森本副市長。「皆さんの声、行動で職場環境を良くしてほしい」と呼び掛けられました。



『2017年新春のつどい』開催

続いてフィナンシャルバシクインスティチュートの山田明氏に「激動の世界経済について」をテーマに講演をいただきました。今年の株式相場を「酉年は騒がしいといわれるが、日本国内に経済的な不安材料はなく、海外要因で変わるだろう」と語り、米国のTPP離脱表明の影響や、欧州の大量迎合主義、政党的躍進、2017年世界経済・政治のイベント等短い時間でしたが、大変分かり易くお話しいただきました。



乾杯の音頭を取って懇親会が始まり、盛会のうちに川井幹事の閉会の辞で終了。

フードドライブには49点の食品を寄贈いただきました。参加された皆様、ありがとうございました。

講演後は
藤原幹事が

地区労福協の活動予定

月	日	曜日	開催時間	催事(イベント)	会場(場所)	参加資格・参加費など	主 催	備 考
4月	23	日	午前	静岡地域労福協まつり	清水マリンパーク	会員構成員	静岡地域労福協	お問合せ先 静岡地域労働者福祉協議会 ☎054-269-4628
	23	日	9:00～	労福協フェスタ	エコパP9駐車場		中遠地域労福協	お問合せ先 中遠地域労福協 ☎0538-32-2706
5月	27	土	9:00	野球観戦バスツアー	東京ドーム	会員のみー有料	袋井地区労福協	会員相互の親睦・交流行事。募集人数は80名です。 お問合せ先 袋井地区労福協 ☎0538-45-1221
6月	3	土	8:30～ 16:00	ソフトボール大会	東芝機械グラウンド	労福協会員組合 構成委員	沼津地区労福協	*雨天の場合 6月10日(土)へ変更

(一財) 静岡県年金福祉協会主催 平成 29 年度市町年金セミナー開催スケジュール

開 催 日	開 催 場 所	共催・協賛団体
29年 4月16日(日)	浜松市 労政会館	
29年 5月21日(日)	静岡市 労政会館	(公財)静岡市勤労者福祉サービスセンター「ジョイブ静岡」
29年 6月18日(日)	沼津市 市民文化センター	沼津市・清水町勤労者共済会
29年 7月23日(日)	焼津市 文化会館	(一財)志太勤労者福祉サービスセンター「ワークピア志太」
29年 8月27日(日)	磐田市 ワークピア磐田	(一財)磐田市勤労者福祉サービスセンター「とらいあんぐる磐田」
29年 9月10日(日)	袋井市 商工会議所	遠州ライフサポートセンター
29年 10月15日(日)	島田市 プラザおおるり	島田榛北勤労者福祉共済会
29年 11月19日(日)	静岡市 清水テルサ	(公財)静岡市勤労者福祉サービスセンター「ジョイブ静岡」
29年 12月10日(日)	掛川市 生涯学習センター	(一財)小笠掛川勤労者福祉サービスセンター「OK!ワーク」
30年 1月21日(日)	藤枝市 生涯学習センター	藤枝市(一財)藤枝市勤労者福祉サービスセンター「サポートふじえだ」
30年 2月18日(日)	三島市 生涯学習センター	三島函南勤労者福祉サービスセンター
30年 3月18日(日)	富士市 ロゼシアター	(一財)富士市勤労者福祉サービスセンター「ふくりこFuji」

◎ 参 加 費:無料 ◎ 開催時間:各会場、午前10時～12時
◎ 申 込 先:(一財)静岡県年金福祉協会 TEL 054(251) 2767

*開催予定は、会場の都合等で変更になる場合があります。
会場毎、定員になり次第、受付を終了します。



労働文化講演会開催

2月3日、袋井市・月見の里学遊館にて、テレビでもご活躍中の中部大学総合工学研究所の「武田邦彦教授」を講師に迎え、「明るい生きがいのある 日本人の人生」をテーマに労働文化講演会が開催されました。寒い中、230名の方にご来場いただきました。

地球の資源・石油はできる過程から考えると枯渇しないというお話、作られた高齢化社会の話、血圧・コレステロールの数値をふまえて、無理にいろいろなことを我慢しなくてもよいのだという健康に対する

ご自身の考え、人の寿命と男女の役割の話等々・・・科学者から見た現在の日本人の人生という視点で講演いただき、内容は多岐にわたりました。

武田教授は最後に、「家庭生活で幸福に快適に過ごすか、ギクシャクと不満を持って過ごすのか選んでみてください。ぜひ皆さん、明るくて健康な毎日を過ごしてください」と笑顔で締めくくられました。

皆さんに、楽しんでいただいた講演会となりました。

まかせて安心!

ご予算・ご要望等、お気軽にご相談下さい。
見積もりから予約・当日の段取りまでフォローします。

団体旅行

旅行プラン企画

会議会場手配

チケット手配

視察研修

レク・行事

お弁当手配

ギフトカード

宿泊会議

お弁当取次販売
会議&イベントに
定価の**10%OFF**

静岡県内の労福協加盟団体様限定
会議・講習会・社内行事にお得なお弁当を!!



東海軒



東海軒大鉄フード



自笑亭



竹酔



天神屋



しずきゅう

※お弁当のご注文は10個以上をお願いいたします。
※お弁当の種類や配達エリア及び配達時間は提携先により異なります。
詳しくはホームページ、お電話でご確認ください。

photoイメージ

感謝・お祝いの
ライフステージに
選べるギフト



大好評!
ギフトカード各種

- UCギフトカード
- ジェフグルメカード
- クオカード
- JTB旅行券

JTB
えらべるギフト
『たびもの撰華』

“楽しい「時間」と「幸福」を、
「感謝」の気持ちと共に贈る”
をコンセプトとした、カタ
ログ式のギフトです。

好評取扱中



たびもの
撰華

photoイメージ



(株)静岡ユニオントラベル

〒422-8067 静岡市駿河区南町11-22 静岡労働会館3F

TEL 054(203)6877(代)

静岡県知事 登録 旅行業 第2-309号

FAX 054(203)6878

<http://www.union-travel.co.jp>

労福協だより 2017 春号

発行日/平成 29 年 4 月 1 日 発行所/(一社)静岡県労働者福祉協議会
発行責任者/大滝 正 TEL.054-221-6241 FAX.054-273-3110

●Eメール

rofukukyo@mx1.s-cnet.ne.jp

●インターネットホームページ

<http://plaza3.dws.ne.jp/~scn00855/>

検索サイトからもご覧いただけます

静岡県労福協

検索